

仲間とともに

ドン・キホーテグループは、正社員・パート・アルバイトといった雇用形態を問わず、従業員はすべて会社の「財産」と捉え、人財と呼んでいます。人財の個性やポテンシャルを引き出す採用や人財育成に注力するとともに、一人ひとりがモチベーションを高く持ち、仕事に対する満足度を向上していけるような環境づくりに取り組んでいます。

ダイバーシティの推進

ドン・キホーテグループは人々の多様な個性を尊重し、すべてのお客さまがお買い物しやすい店舗、すべての従業員が働きやすい職場を目指すため、ダイバーシティを推進しています。障がい者雇用の推進や定年者の再雇用

はもとより、多様な国籍の人財活用と登用にも取り組んでおり、2016年6月からは性的マイノリティへの従業員の理解浸透を図るため、LGBT[※]プロジェクトを発足しました。

※LGBTとは、L：レズビアン、G：ゲイ、B：バイセクシャル、T：トランスジェンダー（心と体の性別に違和感のある人）の頭文字をとった性的マイノリティの総称。日本には13人に1人の割合でいるといわれています。性的マイノリティにはLGBT以外にも、恋愛・性愛感情のない人や、男性でも女性でもないと自認する人もいて多様多様です。

日本最大のLGBTイベント 「東京レインボープライド」に 初出店

ドン・キホーテは、2017年5月のゴールデンウィークに東京・代々木公園で開催された生と性の多様性を祝福するイベント「東京レインボープライド」に初出店。性的マイノリティのシンボルであるレインボー（虹色）のグッズを販売しました。来場者数は2日間で10万人超、当ブースも多くのお客さまで賑わいました。



社内向けブログ「Donki Global Connection」の開設

2016年11月、ドン・キホーテグループで働くグローバル人財のコミュニケーション活性化のための社内向けブログがスタートしました。グローバル人財のインタビューや企業理念の解説などを毎回ブログ形式で更新。さまざまな国籍のスタッフがともに新たな発見をして、相互理解を深めるきっかけを提供しています。

多様な働き方の提案

小売業の人手不足の問題は常態化しつつあります。ドン・キホーテグループは、多様な就労スタイルが可能な勤務制度の導入や、女性の働き方を支援する社内プロジェクトの発足など、時代の変化に対応するためのさまざま

な取り組みを推進しています。また、定年者の再雇用や、早朝品出しスタッフとしてのシニア世代や主婦層の積極採用を進め、ドン・キホーテ、長崎屋、ドイトでの法定雇用率を上回る障がい者雇用など、多様な人財と働き方を受け入れる体制づくりを行っています。

ドン・キホーテ店舗内保育園 「ドンキッズ」を開設

女性従業員の働き方支援の一環として、店舗内保育園「ドンキッズ」の設置を推進し、2016年11月から2017年5月までにMEGAドン・キホーテ店舗（八千代16号バイパス店、環七梅島店、草加店、綾瀬店、東名川崎店）に、5施設を開設しました。

また、2017年6月には、MEGAドン・キホーテ大森山王店の5階に、認可保育園「はぐはぐドンキ adventure 保育園」が開園しました。今後も待機児童の解消と地域、保育園、店舗が一体となった子育て環境の創成に挑戦していきます。



MEGAドン・キホーテ
大森山王店内の認可
保育園



MEGAドン・キホーテ草加店内の従業員向け保育園



データで見るドン・キホーテグループの働き方への取り組み

育児・介護休職取得者数（人）

	2015年6月期	2016年6月期	2017年6月期
産休・育休取得	214	350	376
育児短時間勤務	16	21	24
介護休職	6	18	15

定年再雇用者数（人）

	2015年6月期	2016年6月期	2017年6月期
総数	64	79	99
当該年度に再雇用した人数	15	19	21